

# 岩内高生の書と絵 全国へ



全国高校総合文化祭に作品を出展する小原さん(左)と沢口さん

【岩内】岩内高書道部の小原衣織さん(3年)―岩内町在住―と、美術部の沢口優希さん(2年)―神恵内村在住―がそれぞれ制作した作品が「全道高校書道部門・研究大会」と「全道高校美術展・研究大会」で優秀な作品に選ばれた。作品は7月に香川県で開催される全国高校総合文化祭(総文祭)で展示される。2人は努力の成果を喜びつつ、全国レベルで刺激を受けることを楽しみにしている。

## 小原さん

### 中国臨書伸びやかに

## 沢口さん

### ケーキに喜ぶ妹描く

全道大会の審査会は昨年秋に行われた。小原さんは中国の後漢時代に石に刻まれた「石門頌」の臨書を出品し、約700点の中から北海道代表17人の1人に選ばれた。

「こまやかな慶び」が、約500点の中から北海道代表の14点のひとつに選ばれた。

各代表は、全国大会には新たな作品を制作することになっており、小原さんは漢字とかな交じりの書「霧水のしずり雪 降雪は淡い銀花のように」を書き上げた。

一方、美術展では沢口さんが、妹の菜優さんが幼かった時にイチゴのケーキを前に顔をくしゃくしゃにして喜ぶ姿を描いた油彩画を示す。

沢口さんは「妹の表情が印象的な写真が見つかり、描こうと決めた」と振り返り、「学んできた色の使い方や描き方の知識を生かして、よりよい作品を残していきたい」と話している。

(青山修二)



- ⑥全国大会に出品される沢口さんの油彩画「こまやかな慶び」
- ⑤北海道高校文化連盟賞を受賞した小原さんの「石門頌」の臨書

